

寒耳

鼻病

一耳俄に鳴る事あり、子寅辰巳午申の時ならば吉事なり、丑卯未酉戌亥の時はあし、

〔増補下學集上二支體〕塞耳

〔倭名類聚抄三病〕塞鼻

釋名云、鼻塞曰鼈

音一

共反、

世、

湊久不

通、

遂至

室

塞也、

〔箋注倭名類聚抄二病〕塞鼻 山田本注首有音字、那波本同、新撰字鏡、鼈訓、波奈志戸、醫心方、鼈訓、波奈布佐加留略中原書鼈作鼈、太平御覽引與此同、按玉篇、鼈烏貢切、鼻病也、廣韻、鼻塞曰鼈、玉篇、鼈渠牛切月令人多鼈嚙、廣韻同、二字其音異、然說文無鼈有鼈云、病寒鼻塞也、知鼈卽俗鼈字、有二音者、後世轉訛也、原書湊上有久也二字、

〔增補下學集上二支體〕塞鼻

〔伊呂波字類抄波病〕塞鼻

〔伊呂波字類抄波病〕塞鼻

〔醫心方五〕治鼻塞涕出方第卅一

病源論云、夫津液涕唾得熱則乾燥、得冷則流逸、不能自收、肺氣通於鼻、其藏有冷、冷隨氣垂於鼻、故津液涕不能息收之、

〔醫心方二十一〕治小兒鼻塞方第五十八

病源論云、小兒風冷氣入於頭腦、停滯鼻間、則氣不宣和、結聚不通、故鼻塞也、

〔今昔物語二十八〕池尾禪珍内供鼻語第二十

今昔、池ノ尾ト云フ所ニ、禪珍内供ト云フ僧住キ略中原テ此ノ内供ハ鼻ノ長カリケル五六寸許也ケレバ、領ヨリモ下テナム見エケル、色ハ赤ク紫色ニシテ、大柑子ノ皮ノ様ニシテツブ立テゾ穀タリケル、其レガ極ク痒カリケル事无限シ、然レバ提ニ湯ヲ熱ク涌シテ、折敷ヲ其ノ鼻通ル許ニ窟テ、火ノ氣ニ面ノ熱ク炮ラルレバ、其ノ折敷ノ穴ニ鼻ヲ指シ通シテ、其ノ提ニ指入レテ茹吉ク茹テ引出タレバ、色ハ紫色ニ成タルヲ、高様ニ臥シテ鼻ノ下ニ物ヲカヒテ、人ヲ以テ踏スレバ、